

## 西区自治協議会 会議概要（速報版）

平成 28 年度 第 12 回会議	
開催日時	平成 29 年 3 月 23 日（木）午後 3 時から 5 時 30 分
会 場	西区役所健康センター棟 1 階大会議室
出席者	<p>委員</p> <p>岩協会長 下川副会長 渡辺(美弥子)副会長 田村委員 寺瀬委員                      小林(邦太郎)委員 高島委員 長谷川委員 笠原委員 沢田委員                      大谷(勇)委員 村井委員 大谷(一男)委員 浅妻委員 松井委員                      丹羽委員 庄山委員 富岡委員 塩川委員 郷委員 渡邊(正友)委員                      鍋谷委員 坂井委員 佐野委員 広瀬委員 三富委員 木村委員</p> <p style="text-align: right;">計 27 名</p> <p>[欠席：中原委員 宗村委員 永吉委員 日野委員 小林(満男)委員                      城丸委員 尾崎委員 高木委員 青木委員]</p>
	<p>事務局等</p> <p>眞島西区長、本多西区副区長兼総務課長、永井地域課長、渡部区民生活課長、                      小関健康福祉課長、萩野保護課長、小栗農政商工課長、古俣建設課長、                      羽下西出張所長、浅間黒埼出張所、長谷川西区教育支援センター所長、                      阿部坂井輪地区公民館長 ほかに 5 名</p>
主な議事	<p><b>1 部会の状況報告</b></p> <p>○資料 1 に基づき、各部会長が部会の審議状況について説明しました。</p>
	<p><b>2 平成 28 年度 区自治協議会提案事業の事業評価について</b></p> <p>○資料 2 に基づき、各部会長が説明しました。                      ○審議の結果、原案のとおり承認されました。</p>
	<p><b>3 次期西区自治協議会委員の推薦について</b></p> <p>○資料 3 に基づき、委員推薦会議座長が説明しました。                      ○審議の結果、原案のとおり市長へ推薦することとしました。</p>
	<p><b>4 第 5 期西区自治協議会の成果と課題について</b></p> <p>○資料 4 に基づき、会長が説明しました。                      ○審議の結果、原案のとおり承認されました。</p>
	<p><b>5 平成 29 年度 西区の予算について</b></p> <p>○資料 5 に基づき、西区総務課長が説明しました。                      ○委員から出された意見等は下記のとおりです。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・ 1 ページの予算内訳の合計が西区歳出予算総額の 37 億と一致しないが、                          区づくり事業予算 3200 万ほどの項目に該当するのか。                          ⇒内訳には主要なものを抜粋して記載しており、区づくり事業予算は区                          政推進事業 8,629 万円の中に含まれている。今後説明にあたり、わか                          りやすい表記を検討させていただく。(資料を修正の上、HP に掲載)</p> </div>
	<p><b>6 市長と西区自治協議会委員との懇談会</b></p> <p>○資料に基づき、市長が説明しました。                      ○委員から出された主な意見・質問等は下記のとおりです。</p>

- ・西区においても農業分野における若者育成が課題となっている。(仮称)食料農業大学創設に関心があるが、詳細はどのようなものか。  
⇒農業だけでなく、食文化など「食」について広く取り組むことを目的として、新潟市北区と胎内市にキャンパスが設置される。地域課題解決に向けた大学との連携や若者育成の観点でも期待している。
- ・新潟暮らしについては、新潟市に住んでいる人たちが新潟を良く感じ、発信していく必要があると思うがどうか。  
⇒新潟市の都市イメージ、ブランド力は残念ながら高くはない面もあるが、これを逆手にとった「日本一住みやすいまち」としての発信も行っている。そして、訪れた方々が、観光に繋がっていくよう力を入れていく。皆さまからもロコミを含めてご協力いただきたいと思います。
- ・子どもの貧困対策推進計画の策定とあるが、何か具体的な取り組みの想定はあるか。  
⇒貧困の連鎖を断ち切り、子どもたちにしっかりと学力をつけていただくことが重要と考えている。国・県との役割分担のもと、奨学金制度の検討や、子ども食堂と地域の茶の間機能の一体化、連携についても検討していきたい。
- ・農村地域は、面積的にも広く、元気な80代は農業の重要な担い手でもある。画一的な地域の茶の間ではなく、高齢者のひきこもりを無くす一つの手法としてフロアカーリングの実施などに取り組んでいくことについてどうお考えか。  
⇒農村部には農村部の特性があり、地域の特性を踏まえて取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。健康寿命の延伸、健康づくりとして、その活動支援としてどのようなことが有効か検討させていただきたい。

傍聴者

6名